

項目	説明	
試料・情報 の利 用の 目的 及び 利用 方法	研究課題名	Endoscopic submucosal resection using a ligation device (EMR-L) for duodenal neuroendocrine tumors (dNET), a simple method needless of high technique. 十二指腸原発神経内分泌腫瘍に対する EMRL の有用性の検討
	研究目的	十二指腸原発神経内分泌腫瘍に対する EMRL の安全性・有効性を評価する
	研究対象者	2003 年 5 月から 2020 年 12 月までに当院で内視鏡切除(EMR-L)を行った、十二指腸神経内分泌腫瘍の患者
	研究期間	西 暦 2021 年 8 月 2 日 ~ 西 暦 2024 年 3 月 31 日
利用する試料・情報 の項目 (チェック[X]が入 った項目を利用しま す)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	<input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (内視鏡所見/画像/ 動画、病理診断データ)
試料・情報 の管 理に つい ての 責任 者	当センター 研究責任者	消化器内科 井口靖弘
試料・情報 を利 用す る者 の範 囲	当センターで の実施診療科/ 部局等	消化器内科、消化器外科
	共同研究の場 合、共同研究機 関および各施 設での研究責 任者	該当なし